

MAZDA CX-5(KE)CX-3(DK)DEMIO(DJ) DAMD パフォーマンスステアリングホイール DPS360-M 取付け手順 及び DPS 通信システム結線説明書

必要工具



プラスドライバー マイナスドライバー 端子リリースツール 10mm スパナ LED ペンライト 17mm ソケットレンチ (十字レンチでも可)



取付け時のご注意

- 必ず平坦な場所で取付けを行って下さい。
- ステアリングはタイヤが真っ直ぐになるように調整してからイグニッションスイッチ OFF にし、作業に取り掛かってください。
- エアバッグを外した状態でイグニッションスイッチ ON にすると警告が出る場合がございます。この場合は、エアバッグを戻しエンジンをかけて時間をおくと初期状態に戻ります。



車両側、及びステアリング側の DPS への電源取付につきましては、車種、年式、グレード等で空きコネクタの位置が違う場合があります。テスターで車両側、及びステアリング側の空き端子の導通を確認後メス端子をコネクタに挿入してください。

構成部品	DPS本体	1
	OBDIIコネクタ・送信部	1
	受信部	1
	電源部ハーネス(赤)	1
	電源部4Pハーネス	1
	結束バンド / 配線固定フック	5本/2
	アース用ボルトナット	1
	アース用 M5×15 ボルト	1
	2A マイクロヒューズコネクタ	1

DPS本体



OBDIIコネクタ・送信部



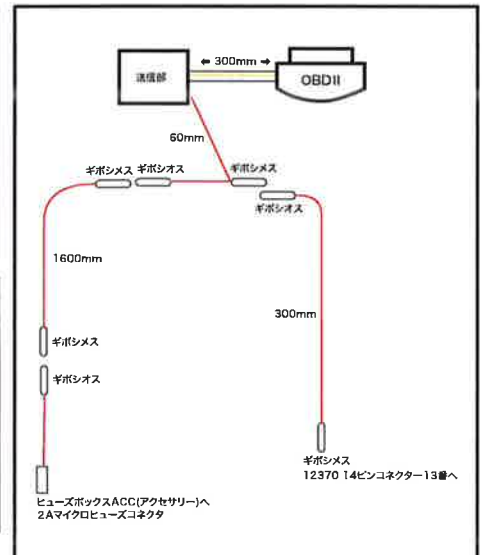
受信部



結束バンド



送信部配線図



アース用M5×15ボルト&M5ナット



電源部ハーネス(赤)



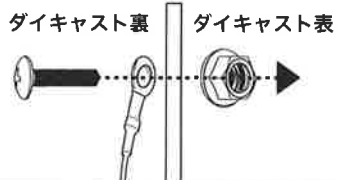
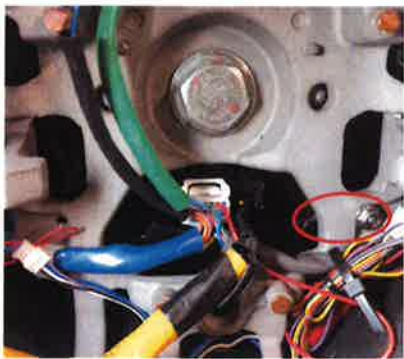
電源部4Pハーネス



2Aマイクロヒューズコネクタ

手順 1 : 付属の SS360-M 取付説明書を参考に現在装着されているステアリングを取り外します。純正ステアリングスイッチの組み付けを DPS へ行なってから配線していきます。

手順 2 : 電源部 4P ハーネスのアース線
黒の丸型ターミナルを
中央右ダイキャスト裏から
付属の M5×15 ボルトと
M5 ナットで固定します。



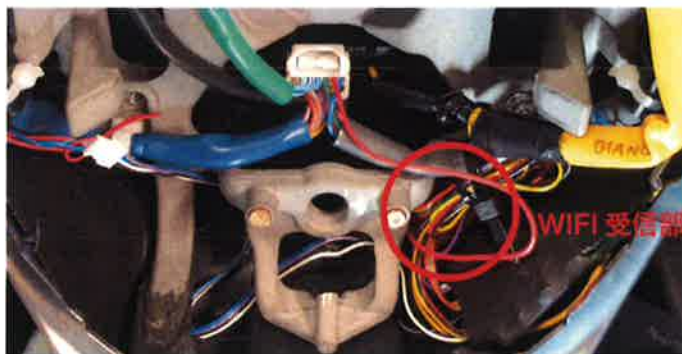
手順 3 : ステアリング側の WIFI 受信部のハーネスとステアリング側左右から出ている
赤、青配線コネクタを L/R 間違わないように 2箇所結線し、
電源部 4P ハーネスのコネクタも WIFI 受信部と結線します。
4P ハーネス黄色の配線は使用しないので折り返し、テーピングし保護しましょう。



① ステアリング両側から出ている赤と青のケーブルがついた
コネクタを受信部のコネクタと左右とも結線します。
※L/R 間違えないように注意してください。

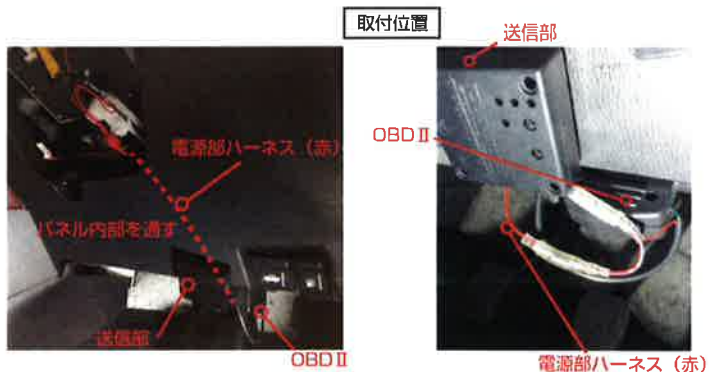
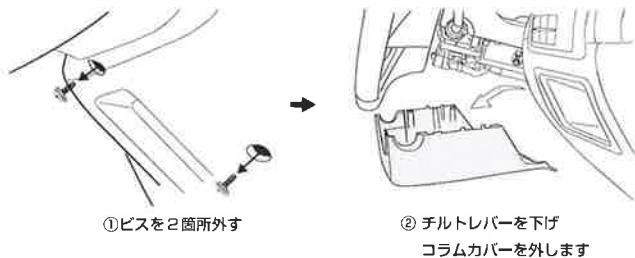
② 電源部 4P ハーネスコネクタも受信部と結線します。

手順 4 : ステアリングホイール内の各ケーブルハーネスと WIFI 受信部をエアバッグのホーンズプリング部分に干渉したり噛み込まないように
まとめて固定し、DPS を車体に取り付けます。



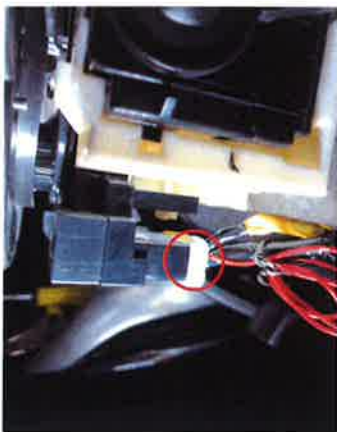
○のように各ケーブルハーネスと WIFI 受信部をまとめます。

手順 5 : ステアリング下方のコラムカバーのビスを 2箇所外し、チルトレバーを下げ、カバーを取り外します。
この時点で送信部と OBD II を装着し、
付属の送信部ギボシ雌端子と電源部ハーネス (赤) のギボシ雄端子をつなぎ、電源部ハーネス (赤) をコラムカバーまで通し配線します。
同様にパッセンジャーシート足元左にあるヒューズボックスアクセサリ電源に付属の 2A ヒューズコネクタを繋ぎ
電源部ハーネス (赤) を結線します。

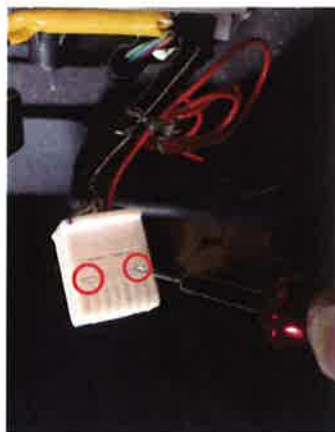


手順 6：車両側ロールコネクタの 14 ピンメスコネクタ (12370) の 13 番へ
付属配線の電源部ハーネス (赤) を挿入します。

A・・・端子リリースツール



① 外したコラムカバーの
○位置にあるロールコネクタ
メス端子を外します。



② コネクタの○クリップ嵌合を
図等で持ち上げ外します。



③ ○13 番の位置を確認します。



④ コネクタに付属配線の
電源部ハーネス (赤) を
○13 番へ挿入し、
クリップの嵌合を戻し、
コネクタを元の位置に戻します。

手順 7：ステアリングホイール側 メインコネクタ (12370) 2 番へ
付属配線の電源部 4P ハーネスの赤端子を接続します。

A・・・端子リリースツール



① ○のコネクタを外します。



② コネクタの○クリップ嵌合を
図等で持ち上げ外します。

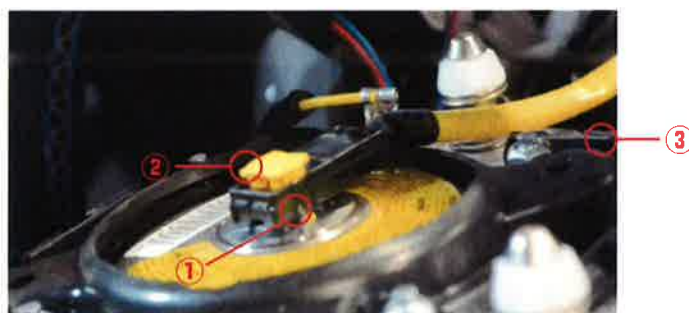


③ ○2 番の位置を確認します。



④ コネクタに付属配線の
電源部 4P ハーネス (赤) を
○2 番へ挿入し、
クリップの嵌合を戻し、
コネクタを元の位置に戻します。

手順 8：ステアリングのエアバッグコネクタ及びホーン信号端子を取り付けステアリングに戻します。



戻す順番は①エアバッグコネクタ→②エアバッグ安全ピン→③ホーン信号端子の順番で戻してください。

手順 9：バッテリーマイナス側を元に戻します。

手順 10：イグニッションボタンでエンジンを始動させ DPS の作動確認を行います。作動確認が終わりましたら
取り外したコラムカバーを元に戻し取り付け終了です。
付属の取扱説明書に従い (チャンネル設定、輝度調整、G センサー設定、ピーク回転数の設定等) 各設定を行ってください。

※お取り付けに際し不明点等がございましたら弊社までお問い合わせくださいませ。

DAMD Inc.
株式会社 ダムド
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266
<http://www.damd.co.jp>

MAZDA 専用 DAMD スポーツステアリングホイール SS360ML 取付け手順

必要工具



プラスドライバー



マイナスドライバー



精密マイナスドライバー



10mm スパナ



LED ペンライト



21mm ソケットレンチ
(十字レンチでも可)

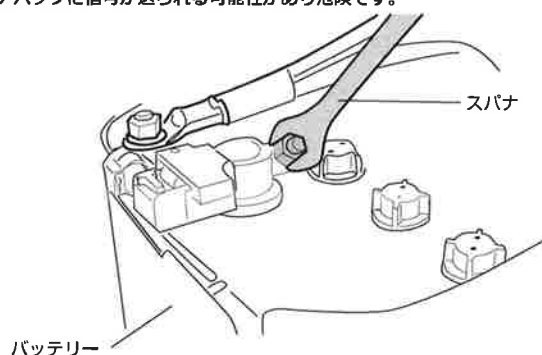


* 取付け時のご注意 *

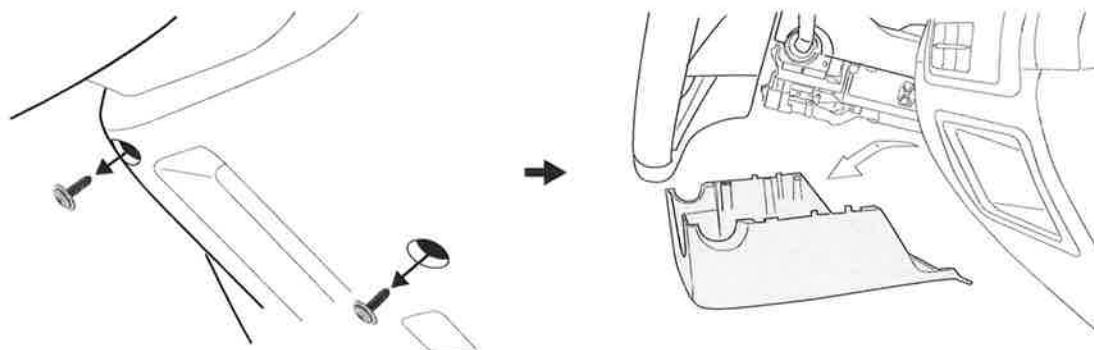
- 必ず平坦な場所で取付けを行って下さい。
- ステアリングはタイヤが真っ直ぐになるように調整してからイグニッションスイッチ OFF にし、作業に取り掛かってください。
- エアバッグを外した状態でイグニッションスイッチ ON にすると警告が出る場合がございます。この場合は、エアバッグを戻しエンジンをかけて時間をおくと初期状態に戻ります。

手順1：必ずイグニッションスイッチ OFF にしてバッテリーのマイナス端子を外し、ショートしないように端子の保護固定を行います。作業開始までに1分以上待機して下さい。

* すぐに作業を始めるとエアバッグに信号が送られる可能性があります。危険です。



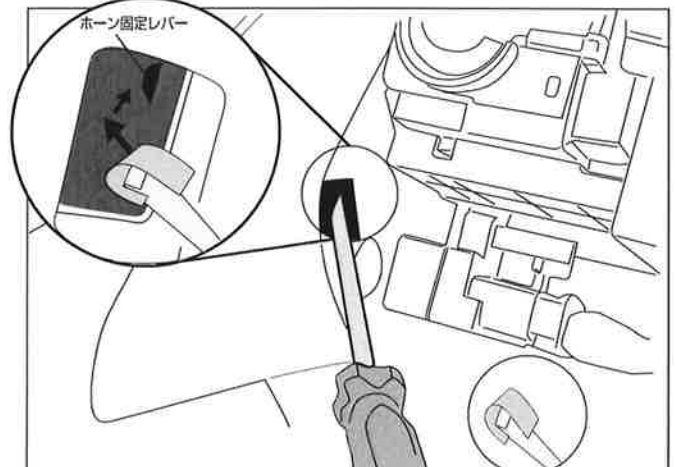
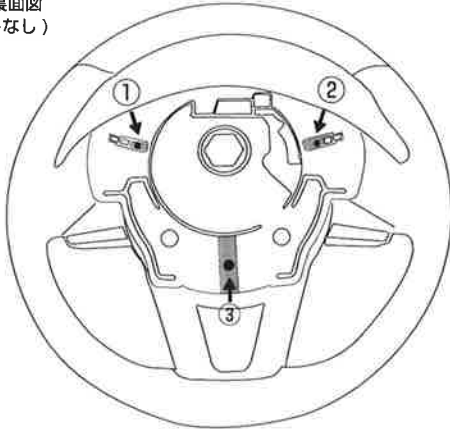
手順2：図を参考にステアリングアンダーカバーのビスを2箇所取外し、アンダーカバーを取り外して下さい。



手順 3 : 図示の順にステアリング穴をペンライトなどで照らしながらマイナスドライバーをアクセスホールに真っ直ぐ入れ
ホール内にある固定レバーを内側と前方向に浮き上がるまで押し、エアバッグを外してください。(全3箇所)

※ 3 つ目のホーン固定レバーを外す際はホーン本体を支えながら取外してください。ホーン本体が落ちて傷が付く恐れがあります。

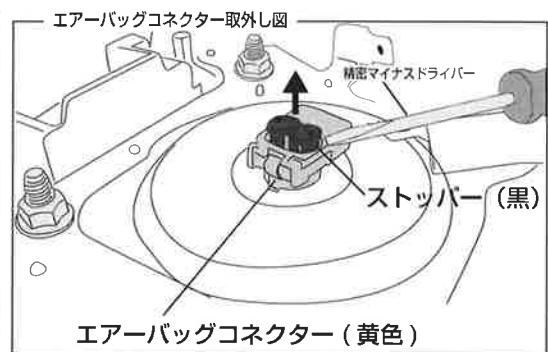
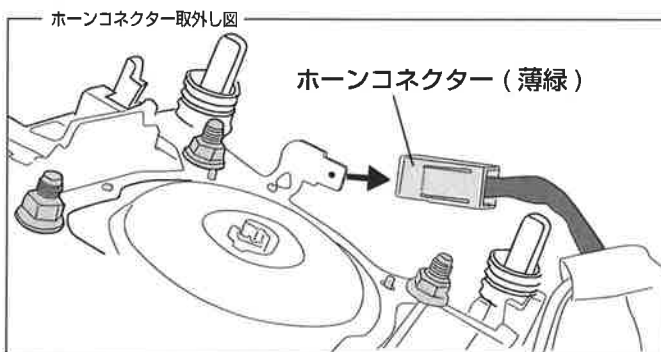
ステアリング裏面図
(パドルシフトなし)



※ 固定レバーに傷が付かない様にガムテープ等で
マイナスドライバーの先端にテーピングを施してください。

手順 4 : 図を参考にホーンコネクター、エアバッグコネクターを取り外してください。

※ エアバックコネクターは黒いストッパーをマイナスドライバーにて外してからコネクターを取外して下さい。

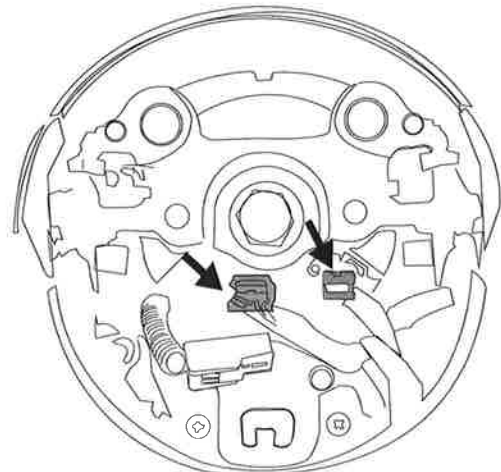
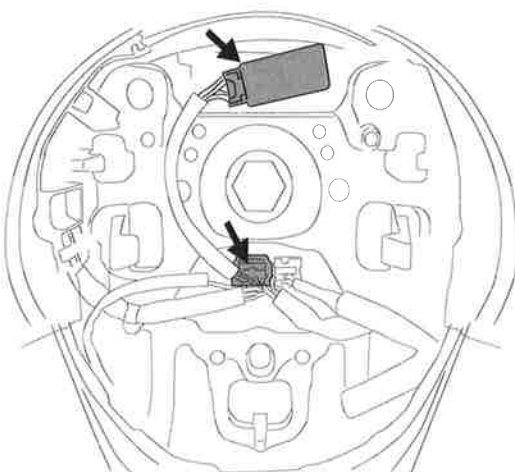


手順 5 : 図を参考にスイッチコネクター類を取り外してください。

年式、型式、仕様によってコネクターの数は異なります。

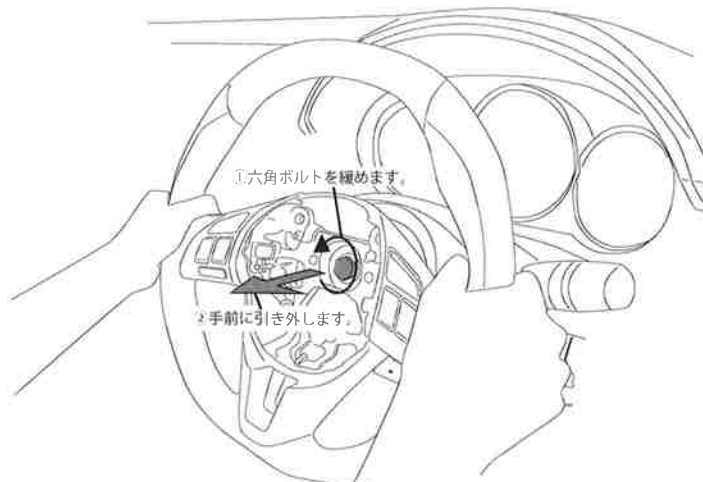
パドルシフト有

パドルシフト無



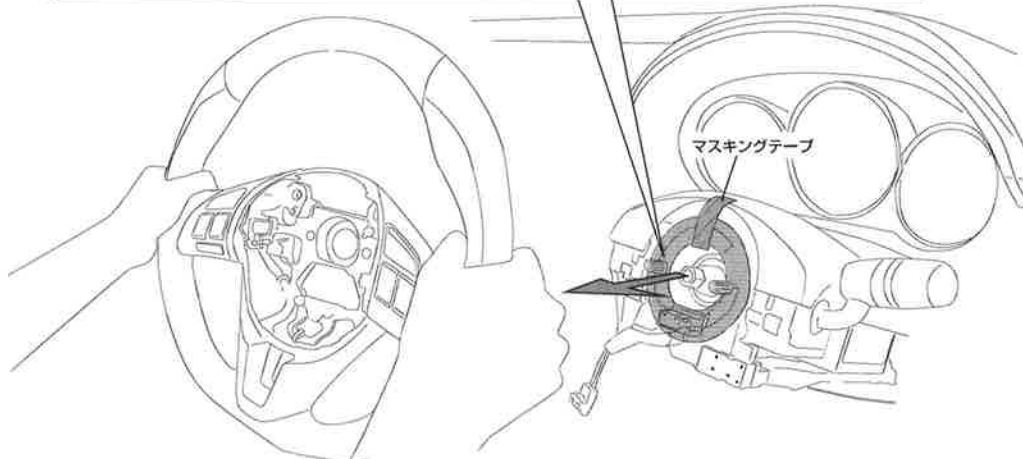
手順 6 : 図の手順を参考にステアリングをセンターに合わせ、21mmのソケットレンチ又は十字レンチにて六角ボルトを5~6回転程回し緩くし、ステアリングを引き外します。

△完全にボルトを外してしまうとステアリングを引き外す際に勢い余って怪我をする恐れがあります。

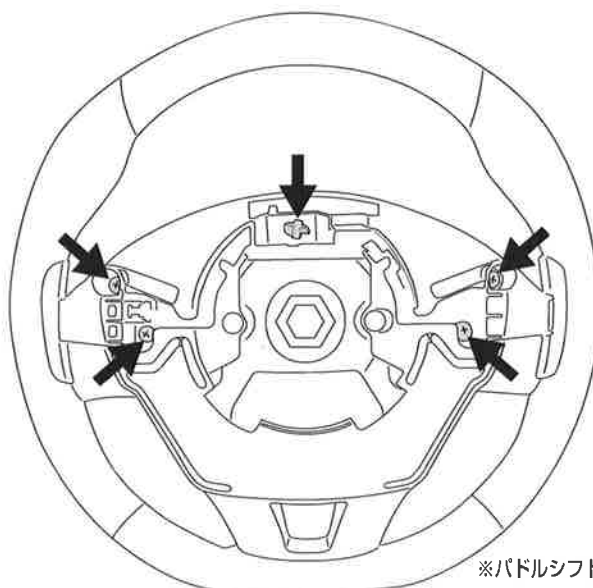


手順 7 : 手順 6 にてステアリングを引き外したら、緩めたボルトを完全に取外し、ステアリングを車体から外してください。

△ステアリングを取外した後、図の部分が回転しないように、マスキングテープなどで固定して下さい。



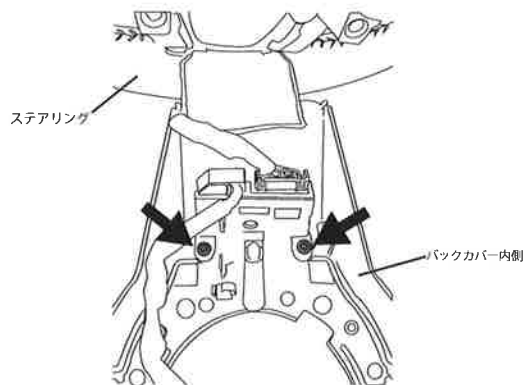
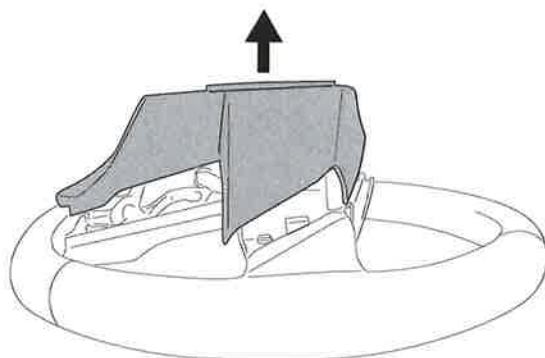
手順 8 : 図示を参考にステアリングカバーのビス、クリップを外してください。(パドルシフト全5箇所 / パドルなし全1箇所)



手順 9：図を参考にステアリングカバーを取外します。



非常に硬い為、無理に外すと破損する可能性があります。取り外す際はツメに注意しながら全体的に少しずつゆっくり取外してください。温かい環境で作業することをお奨めします。

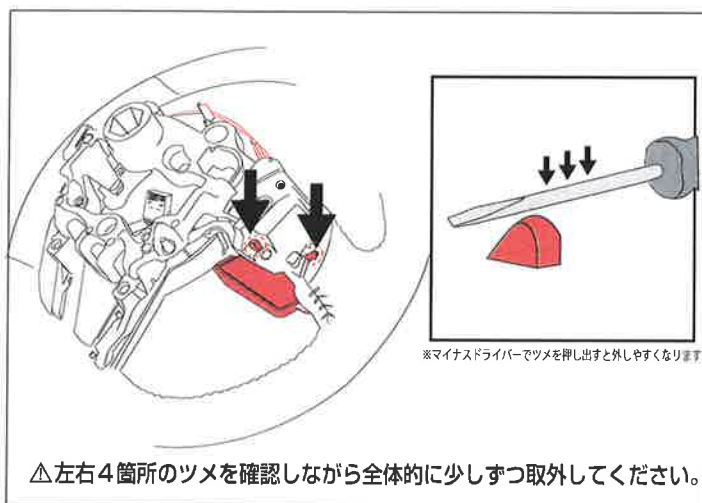


※ステアリングヒーター付き車種の場合、ビスを外しユニットをバックカバーから取り外してください

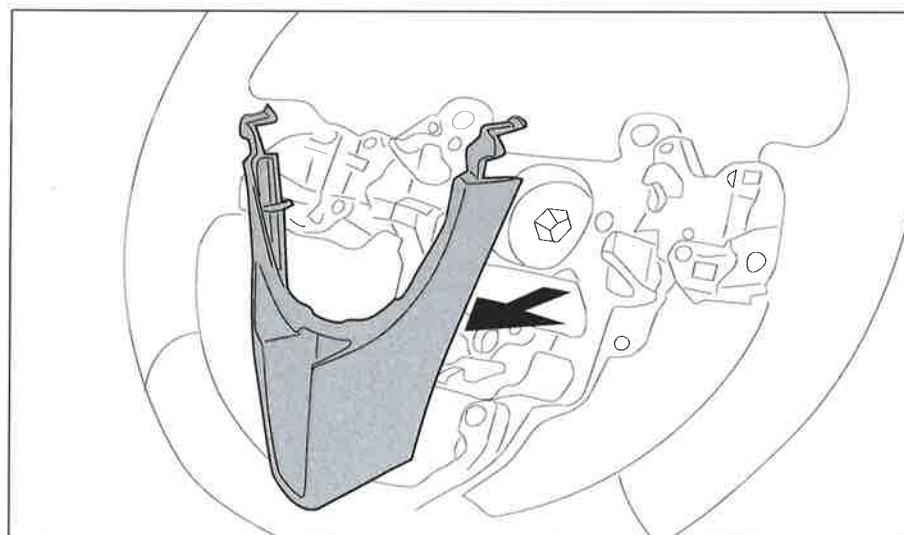
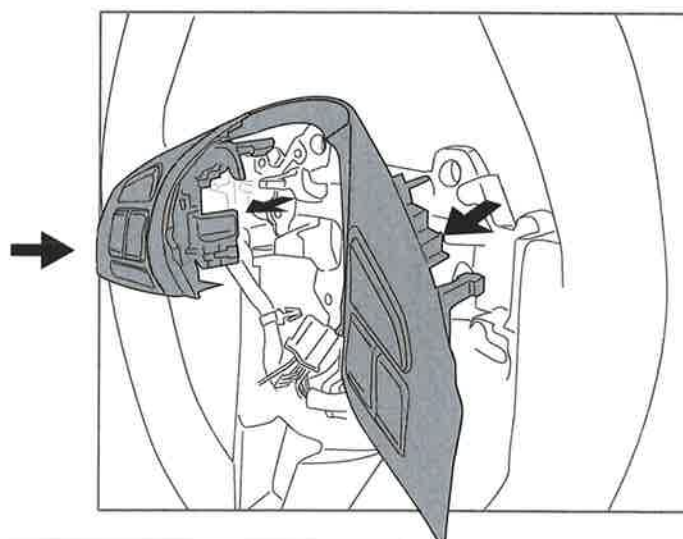
手順 10：図を参考にステアリングスイッチ、ベゼルを取外します。



非常に硬い為、無理に外すと破損する可能性があります。取り外す際はツメに注意しながら全体的に少しずつゆっくり取外してください。温かい環境で作業することをお奨めします。



△左右4箇所のツメを確認しながら全体的に少しずつ取外してください。



手順 11：取外した逆の手順で DAMD スポーツステアリングに各パーツを取り付け、バッテリーのマイナス端子を戻し、ステアリングの取付けは完了です。

お疲れ様でした。